

## 2024年度日本気象学会東北支部 第1回理事会 議事録

日時：2024年6月25日（火）15:00～17:00

場所：仙台管区气象台第2会議室 対面及びオンライン開催

参加者（敬称略） 加藤、有賀\*、岡前\*、塚本、橋本、早坂、森本、谷田貝、山崎（以上理事）、武田（会計監査）、岩渕、蒔苗（以上幹事）

（\*：オンライン参加者）

欠席者（敬称略） 中野（理事）、伊藤、中川（以上幹事）

司会：議題5まで蒔苗幹事、議題6から橋本理事

### 議題1. 日本気象学会東北支部第34期役員選挙の結果

選挙結果について報告した。

### 議題2. 理事欠員のための補充

杉山氏に代わり岡前氏を理事として補充することについて承認した。

### 議題3. 支部規則・細則の改正について

支部規則・細則の改正について承認した。

### 議題4. 新支部長・理事の互選

理事の互選により、加藤理事（仙台管区气象台長）が支部長に決定した。

### 議題5. 事業等の担当役員の選任

担当理事を議案のとおり選任することについて承認した。

### 議題6. 2023年度事業報告

#### （1）東北支部理事会の開催

理事会の開催について報告した。

#### （2）東北支部だより発行

支部だよりの発行について報告した。

#### （3）東北支部気象講演会

昨年度の気象講演会は完全対面により開催したが、アンケートではオンラインの希望もあった。

#### （4）東北支部気象研究会

2023 年度秋季大会を仙台で開催したため、支部気象研究会は開催しなかったことを報告した。

**(5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）**

たまきさんサロンでの開催について報告した。

**(6) 日本気象学会小倉奨励賞の推薦**

昨年度は東北支部から小倉奨励賞について推薦はなかった。

早坂：推薦の数が少ないので、いろんなどころにお願いしようとなっている。岸保・立平賞候補者についても推薦してほしい。岸保・立平賞は社会に多大なる貢献をなしたものとなっている。

谷田貝：小倉奨励賞について、推薦したい方がいる。

塚本：みなさんに聞いて候補となる方を挙げたい。是非ご推薦いただきたい。

**議題 7. 2023 年度会計報告**

蒔苗：支部だよりの決算額が予算額より 10 数万ほど多くなっているのは、2023 年 3 月発行の支部だよりの支払いが年度を超えて 4 月になってしまったためである。また、これまでクロネコ DM 便を利用していたが、2024 年 1 月 31 日をもってクロネコ DM 便の取扱いが終了となり、新たなサービス「クロネコゆうパケット」を利用したため、予算を若干上回っている。

**議題 8. 2023 年度会計監査報告**

異議なし。

**議題 9. 2024 年度事業計画案**

**(1) 東北支部理事会の開催**

蒔苗：年 2 回開催とし、必要に応じて臨時理事会を開催したい。

**(2) 東北支部だより発行**

森本：昨年度と同様に 2 回発行で、業者発注としたい。

**(3) 東北支部気象講演会**

有賀：山形市で開催することで進めていきたい。

谷田貝：来年度は青森開催か？

蒔苗：そのとおり。

**(4) 東北支部気象研究会**

蒔苗：今年度は気象台の東北地方調査研究会と合同開催の予定で、12/2~3 を予定している。

**(5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）**

岡前：たまきさんサロンで行うことについて、仙台市と協議して、早いうちに検討した

い。

#### (6) 日本気象学会小倉奨励賞などへの推薦

塚本：推薦について、ご協力をお願いしたい。小倉奨励賞については2月が推薦のベ  
切。

上記(1)から(6)の計画案について承認された。

#### 議題10. 2024年度予算案

蒔苗：本部からの交付金があるが、支部の前年度繰越金分、差し引かれる。これは気象  
学会の全体の予算的事情からこのようになっている。

議題10について承認された。

#### 議題11. 検討事項

##### (1) 支部事務局の今後の運営と、支部として維持・発展させていくべき活動について（報 告）

昨年度末の理事会での意見について報告した。

##### (2) 支部事務局雑務の業者委託について

今後、気象台の支部事務局雑務の一部業者委託していくことの方向性について、了承し  
た。

業者委託にあたり、経費削減について工夫する必要がある、支部だよりの印刷・発送を  
取りやめることについて、会員の意見も聞くこととする。

#### 議題12. その他（事務局から）

##### (1) 東北支部会員数（個人会員）

昨年に比べて7名減となっている。

早坂：会員数とメーリングリスト登録者数を比較すると10名の方がメーリングリスト  
に登録していない。この10名には案内を出すのか。

事務局：支部だよりの記事に掲載して、意見を聞くこととする。

##### (2) 旅費等について

秋田・盛岡間の新幹線特急料金（指定席）の改定を適用したことにより秋田までの旅費  
が100円安くなっている。

#### その他

早坂：6月7日の本部の総会で、43期理事が承認された（2年間）。6月24日の2回目の  
理事会で、竹見先生が理事長、中村尚先生が副理事長となった。大会のあり方として  
は、春の大会をなくしてJpGUと共催し、秋の大会を充実させる。札幌・仙台の大会  
を参考に、1日くらい長くとり大会の規模を大きくする。これらは42期の理事会で

決めている。大会のあり方 WG は 43 期でもお世話する。大会については 11 年周期の話があったが、10 年周期になるかもしれない。東京の会場費が高いため、東京回数を減らしたいということが理由である。来年は福岡開催で 1 年前契約のため、10 月までに決めなければいけないため、10 月までに具体案を決めて動くこととなる。2025 年の春の大会（オンライン）は実施する。付随する行事、表彰や記念講演もある。なお、これまで、大会開催については文書で正式な依頼を発出していない。今後は正式な依頼文書がくる予定である。